

プレスリリース（2023年9月22日）

オートリブと長城汽車、自動車先進安全技術で提携

（上海/中国、2023年9月22日）—自動車安全システムで世界をリードするオートリブ（NYSE 略称：ALV、SSE 略称：ALIVsdb）の子会社であるオートリブ中国（Autoliv China）と中国の主要自動車メーカーである長城汽車（GWM）は、急速に進化する世界の自動車業界における機会や課題に取り組むため、業務提携をします。この新たな提携を通じて、オートリブは中国の OEM（完成車メーカー）の協力を得て、その地位をさらに強化します。



GWM は、Great Wall、Haval、WEY、TANK、POER といった独自のブランドで自動車の製造、販売を行っています。また、電気自動車専用ブランドとして、ORA の名前で電気自動車を生産しています。当社が 2003 年に Haval SUV 用シートベルトを開発し、その供給を始めて以降 GWM とは協力関係にあります。

この提携のねらいは、先進的なテクノロジー分野における提携を通じて、特に品質面でのイノベーションを加速させることにあります。今回の提携により、車の乗り心地の概念を変えるような成果が生まれることを期待しています。例えば、エアバッグを車の天井から展開するようにすれば、車内スペースを有効活用できるようになります。

また今回の提携には、自動運転車用の統合安全システムソリューションの 1 つである「ゼログラビティシート」が含まれています。オートリブのゼログラビティシートの特徴は最適な安全性を追求したエアバッグと一体型シートベルトにあります。シートをリクライニングさせた状態でも、運転者と乗員それぞれの体重、身長、性別に合わせて安全システムを提供します。

オートリブ中国と GWM は、サステナビリティへのコミットメントを共有し、低炭素ソリューションの開発に注力しています。今回の提携には、エアバッグクッションの基本素材となるバイオ PET や、ハンドルの外装に使用するバイオレザーといった新たなサステナブル素材の開発が含まれています。

「オートリブと GWM には、乗り心地の概念を変えるという共通の目標がありますが、今回の提携がこの目標の重要なマイルストーンになります。また、品質、イノベーション、サステナビリティに重点を置いた安全性へのコミットメントという点でも想いを一つにしています。オートリブ中国は GWM チームと緊密に協力し、オートリブの知識と強みを結集し、世界中のユーザーの安全性と車の乗り心地全般を向上させます。」とオートリブ社長兼 CEO であるミカエル・ブラット氏は述べています。

「GWM とオートリブは 20 年以上にわたって協力してきましたが、今日は新しい旅の始まりだと思っています。革新的な技術、プラットフォーム化、共通化といった分野で密に協力していきます。これにより、未来のモビリティに対して、より多様なソリューションを提供することができるでしょう。」と、GWM の創業者兼会長である魏建軍（ジャック・ウェイ）氏は述べています。

以 上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Media: Annika Sellberg, Tel +46(70)57 81 08

Investors & Analysts: Anders Trapp, Tel +46 (0)8 587 206 71

Investors & Analysts: Henrik Kaar, Tel +46 (0)8 587 206 14

オートリブ グローバルについて

Autoliv, Inc. は、自動車安全システムをグローバル規模で提供するリーディングカンパニーです。当社は子会社を通して、世界中の主要自動車メーカー向けに、エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイール（ハンドル）などの安全保護システムを開発、製造および販売しているほか、歩行者保護、二輪車のライダー向けのコネクティッドセイフティサービスや安全ソリューションも開発しています。オートリブでは、継続して先進的なソリューションを提供するために、モビリティセイフティのスタンダードに挑戦し、再定義しています。

27カ国に広がる約70,000人もの従業員は、「Saving More Lives（より多くの命を守る）」という当社のビジョンに真摯に取り組んでおり、どんな業務においても品質を最も重視しています。14カ所にテクニカルセンターを配置し、20の衝突試験装置を保有しています。2022年度の売上高は、88億米ドルです。株式をニューヨーク証券取引所（NYSE: ALV）に、スウェーデン預託証券をナスダック・ストックホルム（ALIV sdb）に上場しています。

オートリブ株式会社（オートリブ 日本法人）について

オートリブは1987年に日本でオフィスを立ち上げ、35年以上もの間、主に日本の完成車メーカー向けに自動車を含めたモビリティの安全ソリューション（エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイールなど）の開発、製造、販売を行っています。日本のお客様の営業窓口としてグローバルでも重要な拠

点であり、テクニカルセンター、生産工場、営業拠点を日本国内に持ち、2,000人以上の従業員が働いています。

2022年度の売上高は、926億7,900万円です。

さらに詳しい情報は、以下を参照してください。

www.autoliv.com オートリブグローバルサイト（英語）

www.autoliv.jp オートリブ株式会社（日本）オフィシャルコーポレートサイト（日本語）

www.instagram.com/autolivjapan オートリブ株式会社（日本）公式インスタグラム（日本語）

セーフハーバー（免責）事項

本文書には、歴史的事実ではなく、1995年の民事証券訴訟改革法にて定義される範囲内で将来の見通しに関する記述とみなされる記述が含まれています。そのような将来の見通しに関する記述には、オートリブまたはそのマネジメントが、将来起こるであろうと考えるまたは予想する活動、事象または展開を示す記述が含まれます。すべての将来の見通しに関する記述は、現時点での我々の期待、さまざまな仮定および第三者から入手したデータに基づいています。我々の期待と仮定は誠実に表現されており、それらには合理的な根拠があると考えています。しかしながら、そうした将来の見通しに関する記述が実現する、または正しいと証明される保証はありません。なぜなら、将来の見通しに関する記述は、本質的に既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因の影響を受けることになり、それらが、そうした将来の見通しに関する記述によって示されるまたは暗示される将来の結果、実績または成果とは実際には大きく異なる将来の結果、実績または成果をもたらす可能性があるからです。数多くのリスク、不確実性およびその他の要因が、将来の見通しに関する記述にて示される結果とは実際には大きく異なる結果をもたらす可能性があります。本書またはその他の文書に含まれる将来の見通しに関する記述について、当社は、1995年の民事証券訴訟改革法に示される、将来の見通しに関する記述に対するセーフハーバー（免責）の保護を主張します。また、当社は、法律にて要求される場合を除き、新しい情報または将来の事象を踏まえて将来の見通しに関する記述を公に更新または修正する義務を負いません。

※本資料は 2023 年 9 月 22 日にオートリブ本社（スウェーデン）で発表されたプレスリリースの日本語版です。英語版は以下のリンクからご確認ください。

<https://www.autoliv.com/sites/default/files/pr/202309218635-1.pdf?ts=1695362424>